

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2013_05_18 大阪会場)
 ~電子図書 (マルチメディア DAISY 図書) は、
 特別支援を受ける子どもたちに読む喜びを伝えられるのか~

1. この講座をどちらでお知りになりましたか

新聞・雑誌	2	日本経済新聞
ちらし	7	
友人・知人の紹介	11	
ウェブサイト・ブログ	9	図書館 HP 3、財団 HP 3、全国音訳ボランティアネットワーク 2
メールリスト	6	出版 UD 研究会 2、大阪府図書館 1、職場掲示板 3
DM	4	
合計	39	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
18	21	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア DAISY 図書についてのお話は、何度か聞いたことがあったが、実際にさわったり、使われている状況を見れて良くわかった。 ・活用例がたくさん紹介されていて、良かったです。 ・事例ですが、ICF など違う分野の専門家からみられた DAISY についての話がおもしろかったです。これからのいろいろな視点からみた ICF を知りたいです。 ・特別支援学校での実践を知ることができ、早速、自分の授業の中で活用していきたいです。 ・講座をもっと知らせていいと思います。 ・DAISY を活用して国語の授業をしています。幅広い活用方法、実践を聞くことができ参考になりました。しかも、無料で資料も頂き、助かります。ブルー版の紹介も良かったです。今後も使わせてもらいます。 ・本日はありがとうございました。マルチメディア、大きさ、スピード、ハイライトが子どものニーズに合わせてできる事、これを活用して、子どもが読みに対しての抵抗が少なくなり、自信となり、他へも興味ができることを、実践を通しての報告、良かったです。 ・支援学校でのマルチメディア DAISY の活用状況が分かった。 ・DAISY ソフトを正しく使えていないので、宿題の音訓をこなす (ヤツツケ仕事) になっていた事に気付きました。目的や支援方法 (計画) の具体的アドバイスを頂きました。わいわい文庫を活用させていただきます。 ・学校での実践内容が具体的でわかりやすかった。 ・現状の DAISY 活用状況。できてきた歴史。今後の展望 (要望) など系統的に説明頂き、わかりやすく、勉強させて頂きました。 ・講座内容がよかった。概論と、実践例、提供者側のお話で、初めて知ることも多かった。私自身は当事者である子どもと接したり関係する人と直接に接したりすることがないので、なかなかニーズや効果がかめないので、どのように役立つかわかり、納得がいった。職場でも上司への購入説得及び障害サービス拡充に活かしていきたい。潜在的に利用者はいるはずで、まずこちらがアクションをおこさなくては。 ・藤澤先生のおはなしは、とても面白かったです。DAISY の使われ方がわかり、子どもたちの姿も目に浮かぶようでした。テレビでディスレクシアの方のことをやっていたのですが、DAISY はとても重要なアイテムだと思いました。 ・マルチメディア DAISY の利用例を具体的に知ることができた。どういうときに有用で、どのような問題点やニーズがあるかがわかった。

- ・現場での活用例がたくさん紹介され、興味深い話が聞けました。以前、別のところで学習障害のお子さんの事例を聞きましたが、個人の活用法で、学習の理解が深まるとのことでした。今回は知的障害を持つお子さん。個人でクラスで活用しておられる様子。自分に自信を持っていく段階が伝わってきました。多くの方々に周知して頂きたい本です。
- ・野口先生のお話で理論的なことを、遠先生と藤澤先生のお話しで実践を学ばせてもらえました。ありがとうございます。とくに、藤澤先生のお話はこれからの実践に役立たせて頂きます。実践から生まれた内容で、非常に具体的で良かったです。
- ・「ノーマライゼーション」は読書についても、当てはまるということに気付きました。DAISY が高等部でも活用できる、また、その活用方法を知ることができました。

やや満足の原因

- ・実践的な教育現場での方法が聞くことができたから。
- ・読むことに障害があるのは、ご本人の周囲であるという考え方は、もっとももっといろんな分野で、皆がよって立つようにならないといけないと感じられたこと。
- ・三重県の先生のご報告は、校内で共通認識を持ったりすることから始めなければならないことが、リアルな印象として残りました。この発言者の方のお人柄とスタンスは新鮮でした。
- ・実践発表が、自分の今後の仕事に生かせそうだから。
- ・マルチメディア DAISY の様々な活用事例を知ることができてよかった。
- ・実践例として、午後の部の先生方のお話は、よくわかりました。午前の部では、現状について、もっと詳しく、時間もたっぷりとお聞かせ頂きたかった。国会図書館の調査をとりまとめられ、聞きとり調査にも、かかわっておられたので、具体的な状況を含めての可能性と問題点、打開のポイントを伺いたかったです。
- ・著作権のことが、わかりよかった。オリジナルのものを作成するなどの努力があることがわかった。なかなかマルチメディア DAISY 図書が普及しないのは、残念だと思います。
- ・マルチメディア DAISY 図書のこと、あまり認識しておりませんので、マルチメディア DAISY のことを理解することで精一杯でした。
- ・有意義な時間を過ごしました。ありがとうございました。
- ・マルチメディア CD を活用されている現場のお話が聞いて良かった。
- ・健全育成の目的活動を永年続けておいでと今回初めてしりました。マルチメディアを見せて、聞かせて頂いて、声（お話）が単調に聞こえました。最後に聞かせて頂いた劇団の人の声を入れて頂いた分は、素人には面白く聞こえてきました。教育的にはどうかはわかりませんが…。どうも有難うございました。
- ・実践の事例について聞くことができたので。
- ・活用例、ありがとうございました。
- ・子どもたちばかりではなく、もう少し域を越えて広い中（高齢者）でも使えるのではとも思いました。子どもたちのため、日々がんばっておられ感動致しました。
- ・期待していた DAISY 製作の方法、解説ではなかったが、読書サポートということに関して実践報告が聞いて学校現場での使われ方を知ることができました。
- ・多様な障害に応じて、電子化された資料が作られており、少しずつ広まってきているが、十分な活用がされていないように思い、その実践例を知りたいと思い参加した。子どもの様子等あまりよく伝わなように感じたが、使い方、場面を考えれば、普段の学校生活の中で活用できるとも感じた。
- ・もう少し実践例の発表がほしかった。次年度は継続的な学習での活用を聞かせてほしい。
- ・音訳ボランティアをしているので、マルチメディアが視覚障害の方にとってどうなのかという事を知りたかったのですが、今回、お聞きした限りでは、視覚障害の方にはあまり意味がない、「プレクストーク」を越えるものではなかったからです。ただ、バリアフリーへの考え方として、野口先生のお話は、内容が良かったし、はっきりした話し方で、集中力が途切れる事なく、聞けました。
- ・はじめてマルチメディア DAISY の実践活動を聞くことができた。

- ・色々な方面からのお話が聞けて、参考になった。特に、藤澤先生のお話は、わかりやすかった。わいわい文庫の活用術も参考になり、良かった。
- ・もう少し実際の使用（DAISY）例や、特別支援だけでなく、学校での取り入れ方に注目した内容があればよかったです。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・普通の学校や、通級教室などの活用例があれば良いなと思いました。
- ・細かいニーズまでひろってデイジーを作成して頂きとてもうれしいです。今回の研修会もとても勉強になりました。最後の矢部さんのバージョンブルーの説明もとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・マルチメディア DASIIY 図書の普及に関して 大学の司書課程、司書教諭課程、通信教育課程における夏のスクーリングを通して、学生や現場の教員対象に授業で、マルチメディア DASIIY や布の絵本を紹介しています。学生は未来の教師予備軍、現場の教員も授業の紹介で理解が得られると、実践につなげてくれます。活用促進に関して、わいわい文庫など簡単なデモ DVD があると、大学の授業でも理解促進にもつながるかと思いましたが、授業教材での DVD の提供は難しいでしょうか。
- ・一般校では、デイジー図書のデモ知らないことがほとんどです。支援校で、どんどん実践をしてもらって、一般校にも広がって欲しいです。目の前の子どもたちにどんどん使ってあげたいですが、学校の PC 環境がまだまだ整っておらず、自分の PC 等を持ち込み、実践につなげています。学校ではダウンロードしても保存ができない設定（ウィルスから守るため？）なので、配布 CD の中にソフトも入っていると取り込めるので、そのような形になったということで、これからも期待しています。
- ・このような素晴らしいマルチメディア DASIIY 図書、無料配布して頂き、ありがとうございます。（無料は申し訳ないくらいです。）もっともっと広くひろがっていくとよいと思いますし、本校でも、その可能性が大です。今後も、よろしく願いいたします。
- ・まず、貴財団の社会貢献活動に感謝申し上げます。昨年もわいわい文庫の「おおきなかぶ」を1才未満のレベルの子らに使わせてもらいました。劇場版が文字がないこと、フリーの DAISY の無機質な音声に比べて、物語りがよく、子どもにも教員に好評でした。AMIS がなくても立ち上がる点がよかったです。読みが難しいが、理解度は小1程度、ある子には、10分以上の作品を読ませることは大変です。短文でも読解力を求められる作品をお願いしたいです。（小1国語の「かんじのはなし」や「くちばし」などを参考にして下さい。）
- ・これから使ってみて、お伝えできたらと思います。
- ・ハイライトの長さの調整方法を教えて欲しい。
- ・はじめての配布デイジーでアンケートを提出しましたが、他、ご意見のあったものは、担当者の方は真摯に受け止めて頂いたようで、反映されたデイジーを作って頂きうれしいです。配布して頂くたびに、利用される常連さんがいます。初めはクレームが大変でしたが、版を重ねるにつれて、クレームが減りました。ちゃんと効果が出たのではないのでしょうか。これからはがんばって下さい。
- ・出版流通の改善がされ、バリアフリー出版物がもっと普及されればよいなと思います。
- ・DASIIY が否定的な支援学校の教師が居るとの事であるが、その理由を知りたい。
- ・もう少し、時間がたっぷりある講座であっても良いのではないのでしょうか。
- ・何か、どんな作品か、どこにあるのかよく分からないという水準を越えるまでには、時間がかかるのですね。根気と体力が要りますね。
- ・音声については、視覚障害者を対象とした場合と支援学習を目的とした場合で録音の仕方も変わってくるのではないかと、その違いはどうのりこえるのか気にかかりました。
- ・このような機会を、より多く、お作り下さるようお願いいたします。公的にはなかなかなく、貴重な機会です。ありがとうございます。
- ・もう少し、昼休みが長いとよかったです。
- ・著作権の問題や社会への認識のむずかしさなど感じながら、まずは地域の図書館が中心となって、学

校や地域に読書のバリアフリー問題を市民レベルの視線から広げてゆくことが大切だと思います。そして、図書館につながっているボランティアの人たちも読書からのバリアフリーを問題意識をもって活動することが、社会から置き去りになった障害を持った子どもたちの読書環境が広がってゆけると思います。どうか、これからもますます、勉強会、研修会を開催して下さい。期待申し上げます。

- ソフトバンクのフェースブックを見ていたので、注意して見ていきたいです。いろいろ思うところはあるのですが、どう書いて良いか…すみません。また参加したいです。
- 音訳者として参加しましたので、音訳者がどのようにかかわっているのかをもう少し知りたいたいでしたが、今回は学校関係者を対象とされていましたね。
- 研究会発表なので当然のことでしたが、マルチメディアを見たことのない私は、昼休みに ipad を見せて頂いた、講座のあとマルチメディアをスクリーンで見せて頂いて、やっと理解が出来ました（講座の中身）。次回機会があるならば、ビギナーには講座の前に少し紹介があれば、ビギナーはもっとよく理解出来ると思った。折角のお披露目ですから、ご一考をよろしく。
- PC のプロジェクターが光の加減が、少し見づらいときがありました。
- おりがみ、工作、お料理など、レシピ、マニュアルを play 化したコンテンツなどもあれば良いな。高齢者にとっても、文字⇄音声⇄図はありがたいものです。
- マルチメディア DASIIY をもっと活用していくには、豊富な作品（選ぶことができ、年齢、発達年齢に応じた）といろいろな機器での利用、インストールの容易さなどが必要、かなめと思います。ありがとうございました。
- 財団の活動として続けて下さっていることに、心から感謝しております。この活動について、全国の学校（育成学級がある）・支援学校にもっと宣伝して下さい。障害のあるなしにかかわらず、素晴らしい教材だと思います。
- 午後の講座で思ったのですが、マルチメディアを再生するのであれば、先生が使用する PC の他に専用の PC なり再生機を用意すれば、画像を出すまでの無駄な時間が無くて済んだと思います。また、再生の操作は、財団の方がされれば良かったのでは。
- 野口先生の話で、ノーマライゼーションの視点をおさえて、〇〇ことができた。
- 学校の生徒たちに実際につかって、理解をもとめられる方法があれば聞いてみたかった。社会や理科、算数版もあればみたかったです。学校単位で参加できるものがあればいいのに…と思います。